



2019年12月27日

各 位

上場会社名 株式会社 岡山製紙  
 代表者 代表取締役社長 津川 孝太郎  
 (コード番号 3892)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 妻鹿 徹  
 (TEL 086-262-1101)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年7月12日に公表した2020年5月期第2四半期累計期間の業績予想並びに2020年5月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2020年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年6月1日～2019年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,300	450	490	340	68.78
今回修正予想(B)	5,106	716	766	528	106.64
増減額(B-A)	△194	266	276	188	
増減率(%)	△3.7	59.1	56.3	55.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年5月期第2四半期)	5,211	528	570	394	79.86

2020年5月期通期個別業績予想数値の修正(2019年6月1日～2020年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,200	780	820	570	115.30
今回修正予想(B)	10,000	1,030	1,080	760	153.74
増減額(B-A)	△200	250	260	190	
増減率(%)	△2.0	32.1	31.7	33.3	
(ご参考)前期実績 (2019年5月期)	10,030	752	804	533	107.86

### 修正の理由

2020年5月期第2四半期累計期間の業績につきましては、板紙事業において段ボール製品の需要が悪天候などの影響を受けて伸び悩み、販売数量で前年同四半期比4.9%減少したことから、減収となる見込みです。

一方で、原料古紙については中国向け輸出が環境規制の影響で引き続き減少しており、国内の古紙流通量が増加して古紙価格が下落しております。このため、計画より原料費が減少し利益を押し上げる要因となりました。この結果、利益につきましては、予想数値を大きく上回る見込みとなりました。

2020年5月期通期累計期間の業績につきましては、第2四半期累計期間までの業績を反映して利益について予想を大きく上回る見込みです。売上高については、製紙各社の段ボール原紙生産体制増強や、段ボール製品需要の伸び悩みなどで不透明ではありますが、原料古紙価格や燃料価格は引き続き安定して推移すると見込まれるため、利益は当初予想数値を大きく上回ると予想しております。

(注)本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上